

2012年5月～2024年3月の間に

当科において腎凍結療法を受けられた方およびそのご家族の方へ

—「腎癌凍結療法後に穿刺経路に生じた播種再発の検討」へご協力をお願い—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信
研究責任者 岡山大学病院 放射線科 助教 馬越 紀行

1) 研究の背景および目的

腎細胞癌は世界的に増加しており、小径腎癌の治療法として、経皮的凍結療法の有効性を示す多くの報告があります。腎凍結療法後の稀な合併症として、治療用の針を穿刺した経路沿いに腎癌の再発（播種再発）が生じてしまうという報告がありますが、発生頻度などの詳細については明らかにされていません。この研究は、岡山大学病院放射線科において、腎癌に対して腎凍結療法を受けられた後に、穿刺経路に播種再発を生じた方を対象とし、播種再発の発生頻度やその後の経過を調べることを目的として行われます。

2) 研究対象者

2012年5月1日から2024年3月31日の間に岡山大学病院放射線科において、腎癌凍結療法を受けられた患者さんのうち、その後の経過中に穿刺経路に播種再発を生じた成人患者さん3名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2026年3月31日
試料・情報の利用 開始予定日：研究機関の長の許可日から1週間後

4) 研究方法

岡山大学病院放射線科のデータベースより2012年5月～2024年3月に施行した腎癌凍結療法後の患者さんを抽出し、研究対象者を選定します。その後、凍結療法後の腎癌の再発の有無など治療経過について後方視的に検討を行います。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテなどから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、既往歴、身長、体重、腎臓の数、腎機能、血液生化学検査
- ・ 病変のサイズや性状、病変部位、病理組織診断、治療後の腎癌の経過

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院放射線科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究資金と利益相反

この研究は特段の費用を要しないため特定の研究資金は用いません。

この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院放射線科

所属：助教 氏名：馬越 紀行

電話：086-235-7313 （平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-235-7316